

OB 通信

# 鳳 翩

復刊第 4 号

= 2 0 0 9 年 8 月 =



山口大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

鳳翩会

今やどこの山に行っても中高年花盛り。しかし、まともや悲劇！…北海道大雪山系、7月の夏山とはいえ、当時、現地は風雨の中で体感温度は真冬日、低体温症による凍死で10名が死亡。いずれもある程度の登山経験は有する59～69歳代。原因は、ツアーガイドの判断ミス、不十分な装備、無理な日程などが指摘されていました。

この惨事に、中高年登山の危うさを改めて感じました。まず、ツアー参加の危険性。手軽さや気軽さがある反面、依存心が生まれます。この依存心が「自らの身は自ら守る」という自己管理意識を低下させ、自分の命までも他人の選択に委ねてしまう危険性です。

もう一つは、中高年ゆえの危うさです。歳を重ねるごとに体力は着実に衰えています。若いつもりでも、思う程には体がついてきません。判断力（感性）も衰えます。判断力は、経験によって培われるところ大ですが、「昔取った杵柄」も使い続けていないと錆付くと言われるように、危険予知のみずみずしい感性も、時折山行する程度では、衰えているように思います。経験が固定観念となって想像力を鈍らせるのかもしれない。…山行に際しては、自然を侮らず、自分の力量を弁えて、常に危険をシュミレーションしながら、それに備える…改めて、自分へ言い聞かせている次第です。

OB 会員諸氏には、くれぐれも安全には万全を期し、おおいに山野彷徨を楽しんでいただきたいと願っています。

さて、2009年 OB 総会・懇親会は、関西支部の引き受けで10月3日、京都で開催されます。詳しくは本通信の中でご案内しておりますが、関西支部では、会場の確保や散策場所の選定など歓迎準備を重ねられています。どうかOB 同士お誘い合わせの上、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

懸案の部員の確保についてですが、今春は、現役部員のあの手この手の勧誘により、新たに3名が入部しました。現在、部員総数は10名（4年生を除くと7名）です。廃部にいたらぬよう、今後もOB会として支援したいと考えています。

今回の OB 通信にも、各支部の会員から寄稿してもらっています。新しく社会人になった OB からもメッセージが寄せられています。寄稿頂いた各位にお礼申し上げます。

～ 連絡先～ 山口大学体育会ワンダーフォーゲル部 OB 会事務局

〒 753-0841 山口市吉田1677-1

URL <http://houben-kai.sakura.ne.jp/>

# 2009 年度鳳翽会総会案内

開催関西地区実行委員会

鞍馬～貴船神社ハイキング→総会→懇親会 in 京都

開催期日 平成21年10月3日(土)

—記—

## 1. 鞍馬から貴船神社散策

### ① 散策コース

場所 鞍馬～貴船神社散策コース

義経経伝説、火祭りで有名な鞍馬寺から、貴船神社までの散策コース。展望台からは京都の町が一望できます。

### ② 集合 午前11時 京阪電車 三条駅 2番出口(三条駅は下記参照)

#### 【コース】

三条駅 11:12分京阪特急にて出町柳発⇒ 11:15京福電鉄鞍馬線 11:45鞍馬着  
鞍馬寺山門付近で昼食(12:00～13:00) 13:00出発 →由岐神社→多宝塔→霊宝殿  
→木の根道→鞍馬寺西門→貴船神社→貴船駅 15:00着(貴船神社から貴船駅までは  
バスもあります。) 逆ルートで、京阪電車三条駅に戻る。(16:00までには帰着)

### ③ 注意点

途中木の根道等歩きにくい場所あります。足下はしっかり。雨具等もお願いします。

昼食の準備を各自でお願いします。

小銭(電車賃(620円×2、入山料200円)用意願います。

荷物は出発時、当日宿泊するいろは旅館に預けることができます。

## 2. 総会

### ① 場所(前回と同じ)いろは旅館(京都市東山区三条大橋東入 TEL 075-771-9181)

☆交通 ・JR京都駅より地下鉄 御池より乗り換え東西線京阪三条駅下車 15分  
地下鉄2番出口を出てまっすぐ1分

### ② 総会(17:00～17:30)

### ③ 懇親会(18:00～20時)

### ④ 会費 10,000円

宿泊は同時に申し込んでください。5000円です。4～5人相部屋です。布団は各自が敷いていただくようお願いします。

※ 参加の有無は同封の葉書にて9月6日必着で連絡をお願いします。

# 第 1 章

## OB 会員の皆様へ

### 1.1 お知らせ

会費未納の場合は自然脱会となっております。会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。

また、OB 名簿は通信第二号のみに掲載となっております。納入状況につきましては、2009 年が未納の方と、2009 年まで納入の方のみ、振込みをお願いする紙を同封しております。

### 1.2 2008 年会計報告

2008 年内での収入、支出はつぎのようになっています。

#### 入金

|       |         |
|-------|---------|
| 利子    | 24      |
| OB 会費 | 389,000 |
| 総会残金  | 15,000  |
| カンパ金  | 35,000  |
| 計     | 439,024 |

#### 支払

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 2008 年 OB 通信第一号関連費 | 53,013  |
| 2008 年 OB 通信第二号関連費 | 64,087  |
| その他                | 104,487 |
| 計                  | 221,587 |

2008 年末までの OB 会費総額は以下のようになっている。

#### OB 会費総額

|          |           |
|----------|-----------|
| 2007 年繰越 | 1,261,412 |
| 2008 年入金 | 439,024   |
| 2008 年支払 | 221,587   |
| 合計       | 1,478,849 |

OB 会費総額のうち、前受金は以下のとおりになっています。

#### 年別 OB 会費前受金 2009/8/2 現在

|        |         |        |        |
|--------|---------|--------|--------|
| 2009 年 | 318,000 | 2014 年 | 30,000 |
| 2010 年 | 232,000 | 2015 年 | 22,000 |
| 2011 年 | 172,000 | 2016 年 | 18,000 |
| 2012 年 | 124,000 | 2017 年 | 6,000  |
| 2013 年 | 80,000  | 2018 年 | 4,000  |

計 1,006,000

### 1.3 OB 会費納入について

2009 年分 OB 会費を納入されていない方はお手数ですが、郵便振込にて下記へ納入して下さいようお願い申し上げます。なお、2008 年分 OB 会費が未納の方は自然脱会となっております。

口座記号番号 01530-0-16050

加入者名 山口大学ワンダーフォーゲル部

個人会員年会費 2,000 円

夫婦会員年会費 3,000 円

会費納入は上記の倍数でお支払い下さいようお願い申し上げます。

#### 1.4 入会、脱会について

初めて入会される方、再度入会される方は会費振込を意思表示とさせて頂いておりますので、お手数ですが、前記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。会費未納の場合は、自然脱会となりますので、会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。

事務局より

## 第2章

# 会員近況・活動報告

### 2.1 雨の思い出

山口支部 S60 年卒 齊藤昌彦

今年の異動で片道2時間の長距離電車通勤をしています。新山口駅（旧小郡駅）から岩国駅までですが、新幹線なら大阪駅まで行ける時間です。ほんの4ヶ月の通勤ですが、電車が遅れることは結構多いのに驚きました。電車が故障で動かなくなったりもしましたが、全国ニュースでも流れた先日の豪雨の時は、大変でした。

連休明けの7月22日、いつものように午前6時に新山口駅を出発した電車は、徳山駅の雨量計が壊れるほどの雨に遭い、徳山駅で止まってしまいました。ようやく、代行バスで新山口駅に向かいましたが、道路は至るところが川の様になっており、恐怖を感じるほどでした。ようやくたどり着いた新山口駅も周囲が床下上浸水している状態で山口線やバスも止まっている状態で、夕方近くまで駅に足止めを食ってしまいました。その週は、山陽本線でも徐行運転が多く、大変でした。

この豪雨で多くの方が被災されています。被災された方々には大変な日々を過ごされていると思いますが、一日も早い復興を心からお祈りしています。

このような豪雨に遭うのは、実は初めて

ではありません。私の学生時代の夏合宿は、何故か豪雨と縁がありました。大学一年の北海道合宿では、山行はまずまずの天気でしたが、下山後の帯広で豪雨に遭い、3日間帯広からどこにも出られず、バスで静内方面に出たことがあります。極めつけは、大学3年の北アルプス縦走です。

この時は、裏剣から入り、五色ヶ原から黒部ダムに降り、再び蓮華岳に取り付いて、そこから白馬岳まで縦走するハードなものでした。その初日、富山駅から宇奈月温泉駅に向かっている時、やはり豪雨で電車が止まってしまい。代行バス等を使って宇奈月温泉まで辿り着きましたが、その日の入山はあきらめました。翌日、黒部峡谷鉄道で樺平を経て、阿曾原温泉に着いた時は格別でした。その後、池の平小屋からの裏剣を望めたものの、剣沢のテン場で豪雨のため、テントが破れて、剣山荘に避難しました。テントを直しながら、天候の回復を待ちましたが、残りの縦走日程を考え、やむなく剣岳登頂と五色ヶ原等をあきらめ、立山を経て、室堂から扇沢に一端下山して、種池山荘の尾根に取り付き、白馬岳に向かいました。白馬岳を目の前にした時、雷雨に遭い、雷の中で山小屋に辿り着いた時は、ほっとしました。この山行最後に白馬岳山頂から日本海に沈む夕日を眺められたことがせめてもの救いでした。

剣岳には登れなかったもので、その時の仲間と十年後の登頂を約束しましたが、四半世紀近く経っても未だに実現できていません。今年は、せめて映画『剣岳点の記』を見て、登頂した気になろうと考えています。

雨が思い出させてくれた懐かしい山行です。

追伸 映画は、家族に負けてハリウッドになってしまい、パンフレットで我慢です。

## 2.2 再び九州の山々へ

福岡支部 S45 年卒 武富敏夫

定年を迎え昨年7月20年振りに福岡へ戻り、YUWVOB 会福岡支部の仲間入りをした。まだ、千葉県船橋に住んでいる時に、福岡へ帰省した折、家族で男池、原尻の滝を見物し大分県の長湯温泉に宿泊したことがある。長湯温泉は炭酸泉の温泉で、七里田温泉とともに入浴するとサイダーやラムネのように体中に気泡がつき、大変気持ちの良い温泉である。私はどちらかというと七里田温泉の方が好きである。

長湯温泉には川原にガニ湯という混浴の露天風呂があり、夜半になると真っ暗な川原から女性のはしゃぎ声が聞こえるが、暗いため入浴中の女性が若いのかどうかは確認できない。七里田温泉は九重連山の大船山から竹田側に下山したところにある。20数年前にこの温泉の大船荘に宿泊した折の食事の量の凄さには、今でも忘れられない。

とにかく夕食、朝食とも食べ放題でしかも一升瓶の焼酎付である。食べ放題の一例で言うと、ヤマメは御主人が食事場所で焼いてくれて、しかも食べ放題。朝食時の生玉子はざる籠に山盛り入っており、これも食べ放題。更に、チェックアウト時には、野菜のお土産付きである。現在も当時の御主人と年賀状だけのやり取りをしているが、数年前に体調を崩され大船荘も現在は別の人が経営している模様である。

男池は九重連山の平治岳、黒岳への登山

口で、ミヤマキリシマの平治岳、シャクナゲや紅葉の黒岳へと良く利用した場所でもある。男池は数十年前あるいはもっと前の数百年前の雨水が、地下から浸み出してくる湧水の池である。

数年前見学した時は、入口に環境整備のためとして、入場料100円を徴収する小屋が建てられ、また、遊歩道も、数十万人の足で踏み固められかちかちとなっていた。丹沢の大倉尾根の登山道や高尾山の登山道を思い出してしまい、車で気軽に行けるところには大勢の人が見学に訪れるため、仕方ないことであるが、昔の思い出が吹き飛んでしまった。原尻の滝は段差があり、小規模ながらナイアガラの滝に似ている滝である。学生時代、傾山から下山し緒方へ向かう途中、回送のタクシーに乗せてもらいその運転手に案内していただいた場所である。男池のような印象は持たなかったが、道の駅もできており道路などの環境整備は進んでいるように思えた。

福岡支部では、昨年はOB総会の開催を引受けたため、その準備に向けてかなりの会合と現地視察がおこなわれた模様であり、私も7月以降の会合などに参加させていただいた。本年は4月4日に最初の会合があり、その際、1泊で九重へ行くことが話題となった。ちなみに福岡支部の会合の場所は、毎回天神ソラリアのじゃんくうと決まっている。日程は5月23日～24日の一泊二日で、宿泊場所は秋山先輩の手配により、九重西鉄ホテル花山酔と決まった。福岡支部からの参加者は、秋山先輩、私、龍君、岩本君の4名であった。1月17日の山口開催の追いコンと山口支部の新年会に参加した際、山口支部で一泊二日での山行

画が話題となったため、山本会長と田村君へ連絡をとり山口支部からの参加希望者を確認したが、田植えを取りやめてまで山本会長が、また、大分からは村井さん(女性)が参加され、計 6 名の九重行きとなった。村井さんは 24 日のみの参加である。北九州の石松先輩及び大分の加藤先輩へお声をお掛けしたが、いずれも都合が悪く不参加となった。

北九州在住の時の九重行きは、現在のようには高速道路はないため、小石原から日田を経て、豊後中村から九酔溪を經由して長者原へと向かうルートを利用していた。現在では都市高速、九州道、大分道を利用すれば、1 時間 30 分程度で長者原に到着し、長者原や牧ノ戸峠からの九重連山の登山も十分日帰りが可能となっている。

さて、山行両日とも天候に恵まれ、23 日は 13 時にホテルに集合し、牧ノ戸峠から黒岩山へ登り、ゆっくりと温泉に入浴しその日の疲れを癒し、焼酎で上げ底をしながら夕食を待つことにした。黒岩山(1,503m)へは片道 40 分程度で、ミヤマキリシマを鑑賞しながらゆっくりと牧ノ戸峠から往復した。途中三俣山や由布岳の眺望がすばらしい。参加者は、秋山先輩、私、山本会長、龍君、岩本君の 5 名で、コースタイムは以下のとおりである。

牧ノ戸峠(13:00)－展望台(13:05)－泉水山分岐(13:40)－黒岩山(13:42-14:20)－泉水山分岐(14:22)－展望台(14:41-14:54)－牧ノ戸峠(15:00)

24 日は秋山先輩と牧ノ戸峠で別れ、私、山本会長、龍君、村井さんの 4 名で、九州

の最高峰である中岳(1,791m)を目指し、牧ノ戸峠から往復することにした。この日も天候に恵まれ、また、登山道からミヤマキリシマ、イワカガミ、シャクナゲを眺めながら、ほぼ予定通りのコースタイムで往復することができた。山本会長がトップに立つと現役さながらのスピードで歩くため、ついていくのがやっとなのである。中岳から久住山を望むと久住山の方が高いように見える。やはり久住山の方が山の形がかっこいいのかも知れない。6 月上旬が山開きであるが、今年はミヤマキリシマの開花が早く、中岳より遠くに望む平治岳の山腹のミヤマキリシマは早くも鮮やかなピンク色に染まっていた。順調な足取りで中岳を往復し、14 時前にホテルで秋山先輩と合流し、今回の九重への山旅は終りとなった。なお、コースタイムは以下のとおりである。

牧ノ戸峠(8:40)－沓掛山(9:05)－扇ヶ鼻分岐(9:40)－久住分かれ(10:00-10:06)－久住山(10:30-10:42)－御池(11:02)－中岳(11:18-11:50)－御池(12:05)－久住分かれ(12:19-12:25)－扇ヶ鼻分岐(12:45)－沓掛山(13:18)－牧ノ戸峠(13:38)

平成 19 年に乾徳山や会津駒ヶ岳などへの山行で転ぶ機会が多くなり、単独行は中止しようと考えている。福岡へ戻り、会員ではないが地元の筑紫山の会のオブザーバーとして、会のメンバーと共に九州の低山を歩きまわっている。昨年 9 月に降に登った山は、緩木山(祖母山の近く)、阿蘇外輪山、観音岳(玉名近郊)、蔭岳(天草半島)、宝満山(太宰府)、鶴見岳(別府)、作礼山(唐津)で、まさに、再び九州の山々へである。

黒岩山への途中



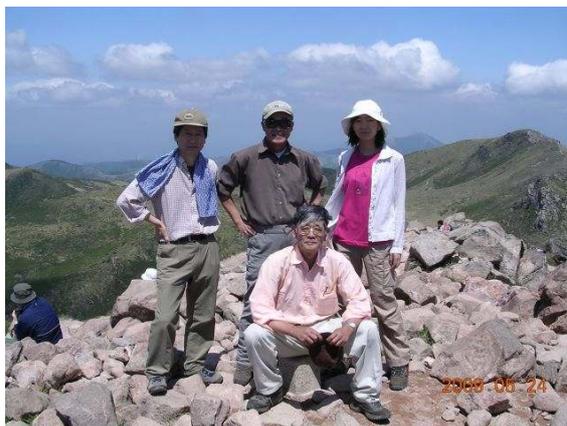
久住山をバックに



久住分れへ



久住山頂



(疲れているせいか全体的に痩せて見えますが・・・)

## オススメ！ 短時間で京都を味わう

関西支部

京都でOB総会が開催されるのは2回目ですね。総会翌日、帰路につくまでの1～2時間で京都を味わえる所を紹介します。十分な時間がないけど、何か京都の思い出をと思う人にオススメです。

## ①修学旅行生や観光客に人気のある「新京極と錦市場」を歩いて京都駅へ。

ホテルの前の三条通を西に進み、南北にはしる河原町通をわたり、アーケードの中を西へ。

交番手前の小さな路地を南に下ると新京極通です。ベタなみやげもの屋、老舗の居酒屋など、ブラブラ眺めて歩くとかなり楽しめます。錦天満宮の前まで下ってきたら、錦小路通を西へ。

錦市場です。老舗の板前さん御用達の京の台所と言われるだけあって、選りすぐりの食材が並んでいます。

試食などもあっていつの間にか食べ歩きに…。そのまま西に進むと烏丸通に。烏丸通を少し南に下って

四条烏丸からバスか地下鉄に乗ると京都駅はすぐです。

## ②三条通の古い名建築を巡りながら京都駅へ。

三条通を西へ。①と同じ交番を通りすぎ、ひたすら西へ。京町家とはちがった近代建築の古いビルを数々

楽しめます。京都博物館の別館の中には、阿蘭陀館という元日本銀行の金庫室を改造したカフェもあります。

日本初の外壁保存の指定を受けた中京郵便局をすぎたら三条烏丸がすぐです。ここからバスか地下鉄で京都駅へ。

## ③ホテルからバスで直接京都駅に行き、京都駅で時間をつぶす。

京都タワーから市内を一望、駅ビル内の施設巡り、地下街でのグルメや買い物など、選択肢豊富で、

出発まで有意義に過ごせます。

時間がある人は、1日乗り放題の市バスの乗車券(500円)を利用して観光してみるのもいいですよ。

市バスを使えば、ほとんどの観光地へ行くことができます。

観光に使える市バスの情報は(<http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/index.html>)で確認するか、([masuko@gaia.eonet.ne.jp](mailto:masuko@gaia.eonet.ne.jp))まで問い合わせて下さればと思います。

10月に皆さんと京都でお会いできることを楽しみにしています。

## 2.4 社会人(消防人)になってワングルが役に立ったこと

H20 年卒 田中歩希

体力的、精神的に大人になれたと思います。部活での筋トレや、練成、登山をすることで、今までにないほど体力がつき、又、部の統括・運営することで精神面が大人になり、先輩やOBの方との交流によって、敬語や態度など社会の常識を学びました。ワングルで過ごした日々すべてが自分の実になっています。今、この不景気の中できちんと仕事があるのも、ワングルで沢山の事を学んだからだと思います。大学時代にバイトや遊んで過ごすのも良いと思いますが、部活でしか学べない事があり、それは社会で生きていくためにはとても重要なことだと今になって思います。

最後に後輩に一言

ワングルに入った事で沢山の絆ができたと思います。この絆は、将来かけがえのない宝物となります。

## 2.5 OB1年生

H21 年卒 西村朋子

大学を卒業し、社会人として仕事を始めてはや4ヶ月。最近仕事にも慣れ、休日は運動を始めようと、会社のテニス部の練習に参加し始めました。山には登っておらず、お盆に山口に帰った際には、久しぶりに鳳翔登山をしようと思います。

私もOBの一員として、社会人1年生ということで、今回初めて原稿の依頼を受けましたが、ワングルが今の私にどう影響し

ているかということについて述べさせて頂きたいと思います。

ワングルでは本学の同期が私1人ということで、メツチェン初?となる主将をし、昨年は事務局の仕事をさせて頂きました。部員の人数が年々減り、それにもかかわらず行事は減らさないという方針で活動していたので、行事の計画や部の運営で寝ても覚めてもワングルという感じの日々でした。執行部も私1人、負荷が大きく、時には先輩から叱咤され辛いこともありましたが、それでも今振り返ってみて、ワングルを最後まで続けられて良かったなと思います。少人数は少人数なりに、家族のような絆ができましたし、卒業して何年、何十年たったとしても昨日会った友のように接せられると思います。就職活動の面接では終始ワングルのことを喋り通しました。それほど、私にとってワングルは学生時代の核となるもので、学部の友人からも、完全に私=ワングルとされていました。

社会人になって、ワングルをしていて良かったと思ったことは、世代関係なく誰とでも話せるということです。普通の学生であれば、年配の方と一緒に行事に参加したり話す機会というものは無いに等しいと思いますが、ワングルで主将や事務局をさせて頂いたことで、OBの方とそうした機会を頂き、職場でもあまり抵抗なく誰とでも接することができていると思います。もともと恥ずかしがりやで積極的な性格ではなかったのですが、ワングルに入ったことで180度性格が変わり、積極的にコミュニケーションをとれるようになりました。これは私にとって非常にプラスになったことです。さらに、ワングルでの活動は普通の人

にとっては特異なことのように、話の種にもなります。

社会人になってからも出来るだけ現役と関わることは大事だと思い、5月の連休に現役の行事である場合に、7月は七夕祭に顔を出しました。現役の様子を窺いましたが、1年生が3人入部してくれたことを知り、ほっとしました。もっと入って欲しいというのが本当のところですが、ワングルの良さや楽しさを知り、最後まで続けて欲しいと思います。今後も、現役の行事には邪魔をしない程度に顔を出していきたいです。

せっかく学生時代にキャンプや登山を覚えたので、仕事仕事になるのではなく、休日はアウトドアを楽しみ、時間があればワングルの仲間とアルプス登山もしたいと思います。また、OBの方々との交流の機会には積極的に参加し、OB1年生としてOB会に若いパワーを投入したいと思います。

## 第3章

### 現役活動報告

#### OB会へのお礼

以前までは総会の時に皆様からカンパ金を集めさせていただいていたのですが、今年からはカンパ金を集めることをせず、5万円を現役のほうでOB会費から使わせていただくことになりました。このお金をワングルの発展のために有効に使わせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

#### 3.1 執行部近況報告

##### 本部 第49期主将 松村将太

##### 今年の係

松村将太：主将・会計

野中美穂：副将・メッチェントレーナー

菊池武臣：渉外・気象・衛生・オッチェントレーナー

荻伸一郎：主務・装備・山行技術・記録図書

今年の部員

|        | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|--------|----|----|----|----|---|
| オッチェン♂ | 2  | 3  | 1  | 1  | 7 |
| メッチェン♀ | 1  | 0  | 0  | 1  | 2 |
| 計      | 3  | 3  | 1  | 2  | 9 |

{経済2名(1年、4年)・人文1名(4年)・理学4名(2年・1年)・農学1名(1年)工学部1名(3年)}

今年は、1年生が3人入りました。2年間

メッチェンを入部させることができなかったので、そういった点では今年はやかったと思います。しかし、今年は去年の5人を下回る3人しか獲得できず、また、工学部を獲得できなかったのもまだまだ努力が足りなかったと反省しています。来年はさらに多くの部員を獲得していきたいと思いません。

前年度に引き続き、本学の主将を務めさせていただいております。松村将太と申します。本学は現在、4年生2名、3年生0名、2年生3名、1年生3名の計8名で活動しています。3年生が本学は不在のため4年生が主将と副将を務めることとなりましたが、今年の夏には主将と副将の引継ぎをしたいと思います。大変だとは思いますが、2年生3人で協力してワングルを盛り上げていってほしいと思います。

今年も新入生獲得に向けて努力し、3人の部員を獲得することができました。今年の1年生はみな元気がよくやる気のある部員なので、前よりも部内の雰囲気よくなった気がして本当に感謝しています。さらに待望のメッチェンが入部してくれて、男だらけだった山大ワングルにも清潔感が戻ってきたように思え、早くも部内で1年生メッチェンの争奪戦が始まっています。また、1年生に今後の抱負を聞いてみたところ、「日頃の活動から合宿まで精一杯動いて、覚えて、苦しんで、そして楽しんでいきたい」、「真面目に楽しく部活に臨み、体力・体作りに励む」、「県内だけでなく県外の山もたくさん登りたい」など1年生の人柄がでた回答で、特に最初の抱負などは本当に感動し、逆にこちらが頑張らなければと思わせる言葉でした。今から1年生にはつら

いことや楽しいことがたくさん待っていると思いますが、みなが怪我なく大きく成長してほしいと思っています。

### 3.2 執行部近況報告

#### 工学部 第46期主将 清水彬行

今年から工学部の第46期主将を務めさせていただきます、清水彬行と申します。工学部は現在、4年1名、3年1名の計2名で活動しています。

4年生が研究で忙しいということもあり、2人が一緒に集まってトレーニングなどをするというのは難しくなっていますが、今年院生になられた先輩などにも協力していただき、なんとかやっているという状況です。

今年は山口で中国四国合同ワンリングが開催されるため、準備に追われ忙しい日々が続いていますが、山口県立大学さんや本学と協力して必ず成功させて山口のよいところをみなさんにアピールできたらいいなと思っています。

また、今年も部員の人数が少ないため夏合宿は本学と一緒にやることになりました。コースは夏合宿コース詳細をご覧ください。

工学部は人数が少なく、さらに今年の1年生にも工学部がないという危機的状況ですが、工学部ワンゲルをなくさないよう努力し、多くの人にワンゲルの楽しさを知ってもらえるよう本学も含めて部員一丸となって頑張っていきたいと思っています。

### 3.3 春合宿結果報告～屋久島～

責任者 清水彬行

今回、春合宿のPLを務めさせていただきました、工学部3回生の清水彬行です。今年屋久島の宮之浦岳に登ることにしていましたが、雪が積もっていたために縄文杉でエスケープという結果になりました。宮之浦岳に登れなかったのは少し残念ですが、屋久島の自然を満喫することができたのでよかったです。

#### ■AP1(3/13)

本学と工学部の合同の合宿だったため、宇部駅で合流して鈍行で鹿児島駅まで行きました。雨が強くて、電車が止まらないかどうか心配でしたが、無事鹿児島駅に着くことができました。鹿児島駅から約20分歩いて、この日は桜島フェリーターミナル内で1泊しました。

#### ■AP2-1 日目(3/14)

- 8:30 桜島フェリーターミナル発
- 8:50 鹿児島港南埠頭着
- 13:10 鹿児島港南埠頭発
- 14:55 宮之浦港着
- 15:30 宮之浦港発
- 16:05 白谷雲水峡着
- 16:10 白谷雲水峡発
- 16:50 白谷山荘到着

鹿児島港南埠頭から高速船トッピーに乗って屋久島へ行きました。雨風が強かったのですが、なんとか屋久島の宮之浦港に着きました。宮之浦港から35分バスに乗ると白谷雲水峡に着きました。雪がかすかに残っていました。途中、花崗岩の大岩の間を勢いよく流れ落ちる美しい滝や沢を見ました。40分ほど歩くと白谷山荘に着きました。

た。ここで一泊しました。この日、白谷山荘に泊まったのは僕らだけでした。

### ■2日目(3/15)

6:12 白谷山荘出発

6:47 辻峠着

6:57 太鼓岩着

7:07 辻峠着

9:10 大株歩道入口着

11:45 高塚小屋着

コースタイム 4:14(うちサブザック行動

0:23)

朝起きたら少し寒く感じました。もののけ姫のモデルとなった白谷雲水峡を抜けて、少し下ると辻峠に着きました。辻峠から景色がいい太鼓岩までピストン。太鼓岩は360°見渡せ、宮之浦岳などの山々を見ることができました。同じ道を引き返して、辻峠に戻りました。

そこから下って行ってしばらく進むと、トロッコ道の途中に出てきます。道は平坦になり、10分進むと三代杉に着きます。トロッコ道は大株歩道入口まで続いています。大株歩道入口からはトロッコ道はなくなり、道は木の階段、急な登りになります。しばらく木の階段を登るとウィルソン株に到着。いままで見たことのないような大きな切り株でした。ここから登山客が増えてきました。さらに進むと、夫婦杉、大王杉などを見ました。少し道に雪が残っていました。そして、世界遺産の縄文杉に到着しました。まず、その大きさに驚きました。写真で見るのとは違うと感じました。記念写真を撮り、この日は少し離れた高塚小屋で一泊。高塚小屋には多くの登山者が宿泊しました。

本来、この日は高塚小屋には泊まらず、次の新高塚小屋に泊まる予定でした。そし

て、次の日宮之浦岳に登る予定でしたが、他の登山客の人から宮之浦岳は雪が積もっていると聞いたため、ここから先に進むことはできないと判断し、次の日下山することにしました。

### ■3日目(3/16)

6:24 高塚小屋発

6:34 縄文杉着

8:27 大株歩道入口着

10:00 小杉谷集落跡着

10:51 荒川登山口着

天気は快晴になりました。まだ寝ている人を起こさないように高塚小屋を出発。他の登山客がほとんどいなかったため、縄文杉をじっくり見ることができました。途中までは前日と同じ道を下りていきました。大株歩道入口からはトロッコ道を進んでいきました。トロッコ道は少し長く感じました。しばらく進むと、荒川登山口に着きました。安房港に帰るバスがなかったため、タクシーで帰りました。安房港に着いて、下山連絡をして合宿は終了しました。

この合宿で思ったことは天候判断が難しいということに改めて感じました。少しでも正しい天候判断ができるように気象の知識を学んでおくことが重要だと思いました。最後に、合宿初めてのPLでなかなか至らない点もあり、先輩や後輩に迷惑をかけてしまったことをお詫びします。また、様々な助言をしてくださった先輩方、差し入れをしてくださった方々本当にありがとうございました。

### 3.4 2009年度 第45回県内合同ワン デリング結果報告

実行委員長 清水彬行

この度、県内合同ワンデリングの実行委員長を務めさせていただきました清水彬行と申します。5月2日～4日にかけて、周防大島の大島少年自然の家で第45回県内合同ワンデリング in 大島を行いましたので報告します。

今年の県合は本部役員の人数が少なかつたため、本部を工学部と県立大学でやるというふうになりました。県大と工学部は距離が離れているため、準備や話し合いをするのもなかなか大変でした。みんなに楽しんでもらうために運動会やその後のタエッセンのメニューなどを工夫しました。

1日目は昼に集合して、レクをして時間を潰し、夕方、鍋を食べて飲みをしました。2日目は午前中登山、その後運動会、タエッセン、キャンプファイヤー飲みをしました。3日目はプレゼント交換、メッセージ交換をして解散しました。

天候は最終日に少し雨が降ったのを除けば、晴れだったのでよかったと思います。いろいろと参加者の皆さんには迷惑をかけたてしまいましたが、2日目の飲みの時に楽しそうにしているのを見るととても嬉しく感じましたし、県合をやってよかったと改めて思いました。

最後に、開催するにあたって実行委員の皆さん、様々な助言をしてくださった先輩方、お忙しい中お越しいただいたOBの方々本当にありがとうございました。

### 3.5 夏合宿紹介

責任者 清水彬行

この度、夏合宿のPLを務めさせていただきました、工学部3年の清水彬行です。今年の夏合宿は工学部の人数が少ないため、本学と合同で行うことになりました。今年は北アルプスに行く予定です。今まで夏合宿は一度も成功したことがないので、今回は成功できるよう頑張りたいと思います。去年、先輩が計画していた夏合宿が中止になってしまったので、今年こそは白馬岳に登りたいと思います。

コースは猿倉から白馬鍵ヶ岳、杓子岳、白馬岳、小蓮華山、乗鞍岳、梅池自然園の3泊4日を予定しています。コースできつところもありますが、山だけでなく、雪渓やお花畑などの自然を味わうことができます。今まで経験したことのない景色を見ることができます。

最後に、事故に注意して、夏合宿がメンバー全員に楽しかったと思えるよう目指したいと思います。

### 3.6 アフター紹介 ～富士山～

責任者 菊池武臣

この度、アフターのPLを務めさせていただきましたことになりました、山口大学本学理学部2回生菊池です。

今回アフターは去年と同じになってしまうのですが、富士山に行こうかと思っています。理由としては、やはり僕自身が一度は日本一の山に登ってみたいと思うのと、今年も

1回生が少なく1年生合宿が行えない可能性があるのですが、1年生も参加しやすい場所にしようと思ったからです。

集中講義などの関係でまだ詳しい日程は決まってないのですが、夏合宿のすぐ後の9月の10日あたりを予定しています。

1日目はあがたの森から須走口新五合目まで電車とバスで移動してここで一泊します。2日目は本八合目の胸突江戸屋まで行こうかと思います。3日目はアタックザックを置いてサブザックで剣ヶ峰を目指し、登頂後そのまま須走新五合目まで下山し、解散したいと思います。須走口を選んだのは途中に樹林帯があり自然を満喫できるのでワンダーフォーゲルの趣旨にぴったりだと思ったからです。

日帰りでも登ることのできる富士山に泊まりで登るのだから密度の濃い充実したワンデリングにしたいと思います。

(部室外観)



(部室内部)



## 第4章

### その他

#### 4.1 Y.U.W.V ホームページ

山口大学ワンダーフォーゲル部のホームページをご紹介します。OB 通信も掲載しているので是非ご覧ください。

Y.U.W.V ホームページ URL

<http://www.cc.yamaguchi-u.ac.jp/tabidori/>

#### 4.2 編集後記

編集 松村将太

100年に1度の不況といわれるなか、就職活動もようやく終わり、事務局としての初仕事、OB通信の編集作業をやらせていただきました。すべてが初めてのことでいろいろ戸惑いなどもありましたが、無事編集作業を終えることができました。

多少読みにくいところなどあるかもしれませんが、皆さんに少しでも読みやすくしてもらおうと努力したのでその点を評価していただけると嬉しいです。

毎年、5・6人は新入生が入部してくるのですが今年は3人と少なく、部員の獲得もそうですが、いつも以上に部員の維持ということにも力を注いでいかなければなりません。そのために上級生は自分も楽しむことも大事ですが、後輩をいかに楽しませ、ワンゲルの魅力を伝えるかが大事なのではないかと思います。さらに最近では山にはあまり興味がなくアウトドアに興味があっ

て入部してくる部員も少なくないので、活動の内容を登山に限定するのではなく、もっと別の活動を積極的にしていくことも必要となってきたいるのかもしれませんが。

来年以降も新入生獲得がワンゲルの最大の課題となってくると思いますが、県内ワンゲルのみなさんと協力し合って、後輩達が汗を流してくれればきっとこの問題を乗り切ってくれると思っています。

